

単位数	2	学科(型) 学年	機械科 1年	教科書 副教材等	工業情報数理(実教出版) 情報技術検定3級問題集
学習目標		1 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 2 情報技術に関する知識と技術を習得する。 3 工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用できるようになる。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	<産業社会と情報技術> <コンピュータの基本操作とソフトウェア> <プログラミング>			・知的財産権、プライバシーの保護、ネチケットなど自分と他人の権利を守ることやモラルの重要性を理解する。 ・2進数、16進数及び論理回路の基本について理解する。 ・コンピュータの構成、処理装置について理解する。 ・順次・選択・繰返しの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義について理解する。	
2	<プログラミングの基礎> <BASICによるプログラミング> <コンピュータネットワーク>			・順次・選択・繰返しの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義について理解する。 ・BASICの特徴、簡単なプログラム作成について理解する。 ・条件分岐と無条件分岐、繰返し処理及び配列の利用などについて理解する。 ・身近なコンピュータネットワークについて理解する。	
3	<コンピュータネットワーク> <コンピュータによる制御> <情報技術の活用>			・コンピュータネットワークの通信技術について理解する。 ・コンピュータ制御の考え方について理解する。 ・適切な情報収集方法と情報の選択方法を知り、実際に情報収集して活用できる力を身に付ける。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技能を身に付けている。情報技術に関する基礎的な知識を持ち、社会における情報化の進展と情報の意義や役割、情報化社会に生きる技術者としての使命を理解している。			
思考・判断・表現		・諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身に付けており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度		・情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身に付けている。			
評価方法	学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価します。年間5回の定期考査の結果や小テストをもとに、学習内容の理解度・定着度を評価する。 学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢、宿題、発表内容などを総合的に評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 授業では、ノートをとるだけでなく説明をよく聞きましょう。 ○ 授業で分からなかったことは、その日のうちに質問に来ましょう。 ○ 必ずその日の授業の復習を行いましょう。 ○ 全員情報技術検定を受検し、学習の成果をもとに上位の資格取得にも積極的に取り組みましょう。					